

## 広島県経済の動向

令和2年6月19日

商工労働局

# 目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	
5	名目賃金、実質賃金の推移【事業所規模5人以上】	
6	名目賃金、実質賃金の推移【事業所規模30人以上】	

# I 経済動向の概要

## 1 国内経済の動向

### (1) 概要

指 標	R 2年		
	3月	4月	5月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。
輸 出	弱含んでいる。	感染症の影響により、このところ減少している。	感染症の影響により、急速に減少している。
生 産	引き続き弱含んでいる。	感染症の影響により、減少している。	
設備投資	おおむね横ばいとなっている。		このところ、弱含んでいる。
雇用情勢	改善してきたが、感染症の影響がみられる。	感染症の影響により、足下では弱い動きがみられる	感染症の影響により、弱さが増している。
個人消費	感染症の影響により、このところ弱い動きとなっている。	感染症の影響により、急速に減少している。	
住宅建設	弱含んでいる。		
企業収益	製造業を中心に弱含んでいる。	感染症の影響により、急速に減少している。	

### (2) 先行き

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動レベルを段階的に引き上げていくが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。金融資本市場の変動等の影響等を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和2年5月28日公表）】

## 2 広島県経済の動向

### (1) 概要

指 標	R 2年		
	3月	4月	5月
基調判断	新型コロナウイルス感染症などの影響から、このところ弱い動きとなっている。	新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しさを増している。	
輸 出	一段と弱い動きとなっている。	減少している。	
生 産	一段と弱い動きとなっている。	減少している。	
設 備 投 資	増勢が一服している。		
雇 用 情 勢	引き締まった状態が続いている。	弱めの動きがみられ始めている。	弱めの動きがみられている。
個 人 消 費	新型コロナウイルス感染症などの影響から、このところ弱い動きとなっている。	大幅に減少している。	
住 宅 投 資	横ばい圏内で推移している。		弱含んでいる。

### (2) 県内の経済の状況

需要項目別に概観すると、公共投資は復旧・復興需要がみられる中で、高水準で推移している。設備投資は増勢が一服している。住宅投資は弱含んでいる。輸出は減少している。個人消費は大幅に減少している。生産は減少している。雇用・所得環境をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%程度となっている。

先行きの景気は、当面、新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状態が続くとみられる。

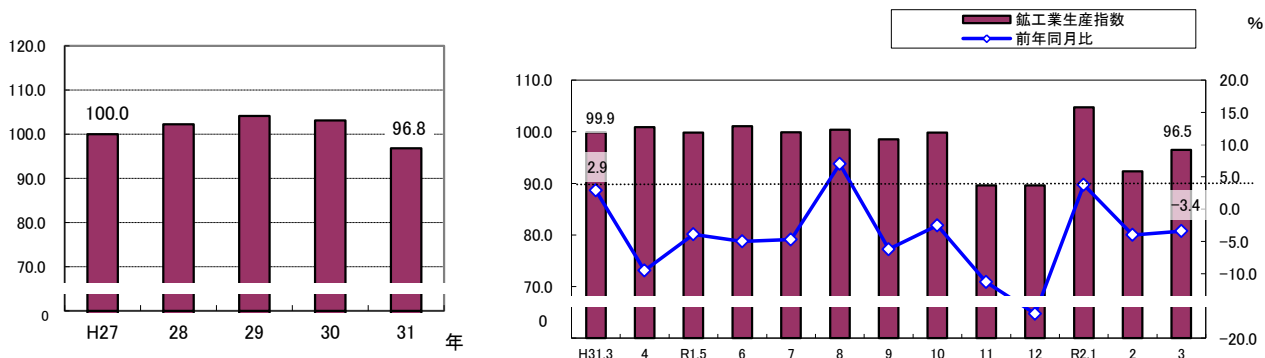
【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和2年6月1日公表）】

## II 県内主要製造業の生産動向

### 1 鉄鋼（令和2年3月）

3月の鉄工業生産指数（鉄鋼業，原指数，速報値，平成27年＝100）は96.5で，前年同月比で3.4%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比) 【県統計課】



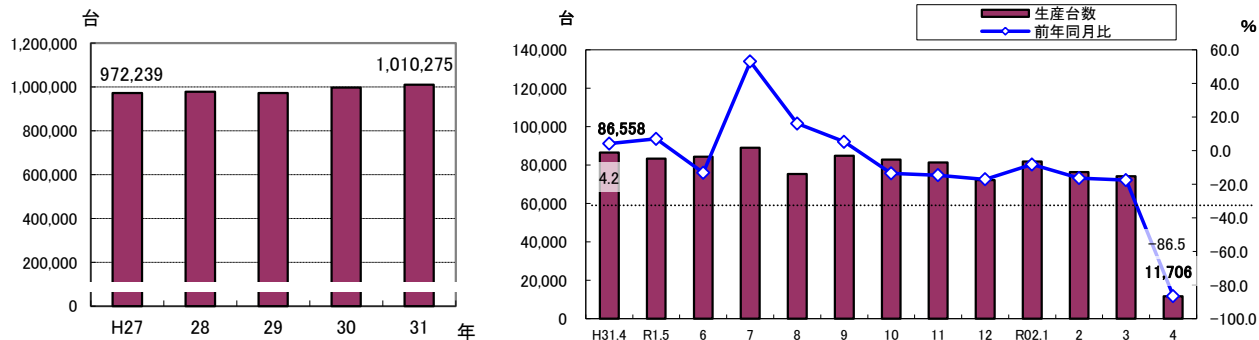
#### ○最近の景況

減少している。

### 2 自動車（令和2年4月）

4月の国内生産台数は11,706台で，前年同月比で86.5%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比) 【マツダ(株)】



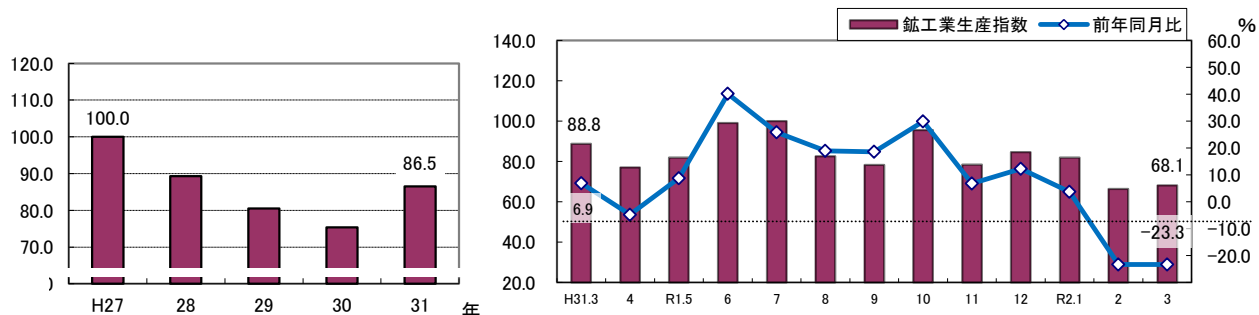
#### ○最近の景況

減少している。

### 3 造船（令和2年3月）

3月の鉄工業生産指数（造船部門，原指数，速報値，平成27年＝100）は68.1で，前年同月比で23.3%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比) 【県統計課】

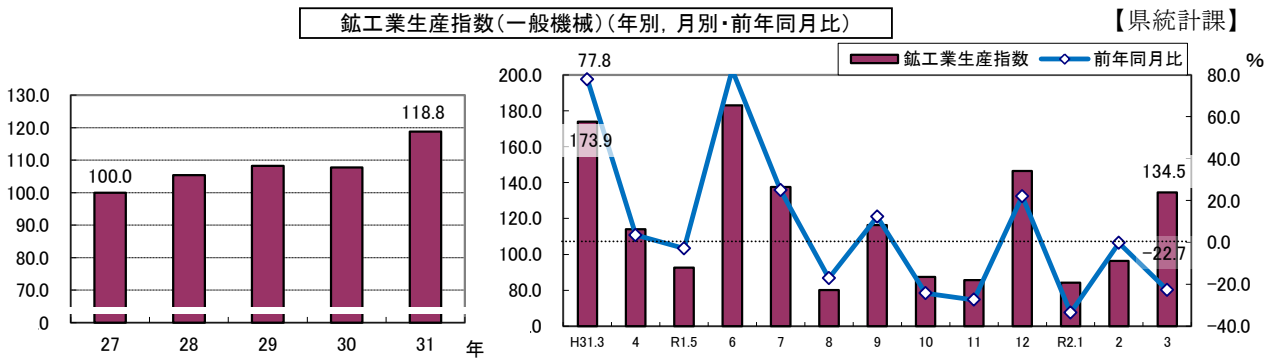


#### ○最近の景況

弱めの動きとなっている。

#### 4 一般機械（令和2年3月）

3月の鉱工業生産指数（一般機械工業，原指数，速報値，平成27年＝100）は134.5で，前年同月比で22.7%減少となっている。

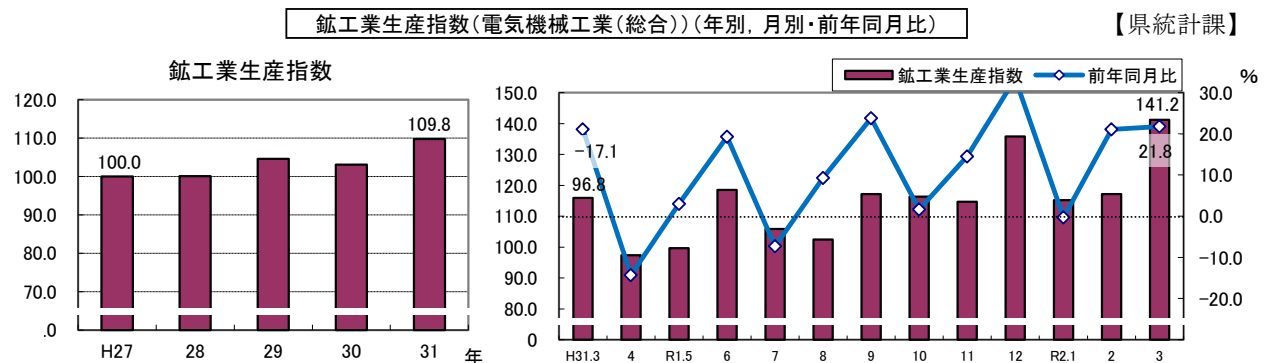


#### ○最近の景況

弱めの動きとなっている。

#### 5 電気機械（令和2年3月）

3月の鉱工業生産指数（電気機械工業（総合），原指数，速報値，平成27年＝100）は141.2で，前年同月比で21.8%上昇となっている。



#### ○最近の景況

緩やかに増加している。

※ 「最近の景況」は，令和2年5月12日公表の日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」より転記。

### Ⅲ 中小企業の動向（令和2年3月）

【広島県中小企業団体中央会】

#### 1 概況

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比28.6%減少と7ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車も26.0%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車の海外販売合計台数は54.3%減少と前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工数は前年同月比7.6%減少と9ヶ月連続の前年割れとなり、広島県内の住宅着工数も前年比12.7%増加となった。

新型コロナウイルスの影響により、先月よりさらに業況が悪化している。今後、新型コロナウイルスの影響がどこまで及ぶのか、現時点では予測不可能であり、先行きも不透明である。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく。

景況 天気 図	業種	3月の景況感	4月の景況感	業種	3月の景況感	4月の景況感
	食料品			一般機械器具		
	繊維・衣服			電気機械器具		
	木材			自動車部品		
	家具			造船		
	印刷			建設		
	化学			トラック輸送		
	プラスチック製品			内航海運		
	土石製品			卸売		
	鉄鋼（鋳物）			小売		
	金属製品			情報サービス		

好況 やや好況 普通 やや悪い 悪い

#### (1) 景況感の変化

景況感	業種数		
	3月	4月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	0	0
普通	2	0	▲ 2
やや悪い	10	9	▲ 1
悪い	8	11	3

(2) 前月（3月）から変化のあった主な業種

業種	3月の景況感	4月の景況感	変化の理由・状況
木材	悪い	やや悪い↑	<p>広島県内の3月の着工戸数は1,529戸で前年比12.7%増加、このうち持家は474戸で同18.5%増加、貸家は557戸で同5.9%増加、分譲は498戸で同15.5%増加、県全体の住宅着工動向は前年同月比5ヵ月振りの増加となった。</p> <p>【広島県木材協同組合連合会】 新型コロナウイルスによる悪影響が全産業へ波及し、経済活動が停滞し、底が見えない状況となってきた。緊急事態宣言も延長の見通しで、相変わらずの状態が相当程度続くものと思われる。各種助成金、融資制度が出てきているが、複雑さと時間がかかることへの不満が広がっている。</p> <p>【広島県北部国産材加工協同組合】 3月の住宅着工戸数は対前年比変化なしで推移したため、今月の仕事量は前年程度維持出来ているが、来月からは大きく落ち込みが予想される。</p> <p>【福山木材協同組合】</p>
一般機械器具	やや悪い	悪い↓	<p>今月の売上は、年度末要因により前月比31.6%減少、前年同月比は4.8%増加となった。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、営業や出張に影響が出ている。テレワークの拡大、商談、会議等のリモート化を推進している。</p> <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】 組合員各社は、今後さらに新型コロナウイルスの影響が大きくなることが懸念される。組合の課題は引き続き、役員の高齢化と世代交代である。</p> <p>【出島工業会協同組合】</p>
卸売	やや悪い	悪い↓	<p>全体としては、消費税率引き上げの悪影響が想定より長くなってきていた中で新型コロナウイルスの影響が重なり、特に体力のない組合員は資金繰り等が悪化している。</p> <p>【協同組合広島総合卸センター】</p>
情報サービス	普通	やや悪い↓	<p>引き続き新型コロナウイルスの影響が広がってきている。</p> <p>【（一社）広島県情報産業協会】</p>

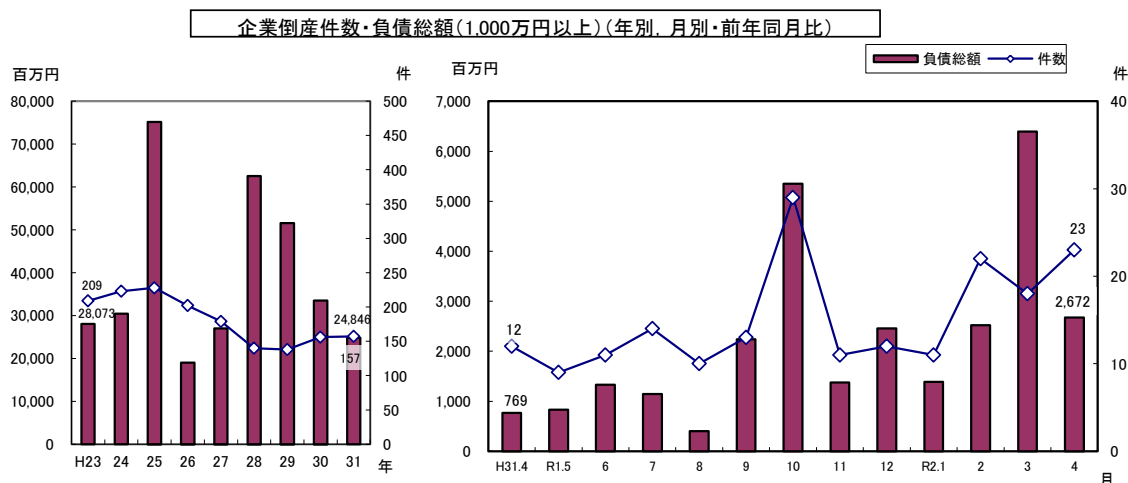


## IV 企業倒産状況（令和2年4月）

### 1 概況

負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が23件、総額26億7,200万円であった。前月比で件数は5件減少し、負債総額は37億2,200万円減少した。前年同月比では、件数は11件増加し、負債総額は19億300万円増加した。大型倒産（負債総額10億円以上）は発生しなかった。

区 分	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月
件 数 (前年同月比)	22件 (+ 9件)	18件 (+ 4件)	23件 (+ 11件)
負債総額 (前年同月比)	2,520百万円 (+ 99.5%)	6,394百万円 (+ 591.4%)	2,672百万円 (+ 247.5%)



### 2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が8件、製造業、建設業、サービス業が各4件、その他が3件となった。負債総額では、製造業、卸・小売・飲食業、サービス業、建設業、その他の順となった。

### 3 原因別

原因別では、販売不振が16件、シワ寄せが4件、放漫経営が2件、他社倒産余波が1件であった。

### 4 今後の見通し

2020年4月度の県内倒産の件数は23件、負債総額は26億7,200万円となった。件数は前年同月比5ヵ月連続増加。負債総額は10億円以上の大型倒産はなかったものの、負債総額が10億円近い倒産が1件発生したことと倒産件数の増加もあり、前年同月比3ヵ月連続増加となった。2020年に入ってから前年大型倒産の発生があった1月の負債総額が前年を下回ったが、それ以外については負債総額、件数ともに前年を上回っており、増勢傾向にある。

4月7日に政府は東京都など7都府県を対象に「緊急事態宣言」を発出、同月13日広島県では独自に平日も外出自粛の要請を行った。さらに政府は16日、「緊急事態宣言」の対象地域を全国に拡大、県内に於いても対象者（遊興施設や飲食店等）に対し休業要請を行った。要請に全面的に協力した中小企業者等に対して支援金支給のほか、県内中小飲食店に向けては新たに「テイクアウト」や「デリバリー」に取り組むための初期費用等を助成する支援を打ち出すなど各種支援の拡充を進めているが、外出自粛が浸透し多くの企業に於いて4月の売上も落ち込むことが予測される。

緊急事態宣言後、感染者は減少基調となってきたが、目指すところまで至っていないことから期間が5月31日まで延長された。広島県では5月11日から一部施設の使用制限要請を緩和した他、今後は感染の蔓延状況に応じて、レベル4から1までの段階に分け、各レベルに応じた行動を要請するなど収束に向かっている面が見えてきた。しかし、例年観光などで賑わうGWも閑散とした状態であったことに加え、プロスポーツの分野でも開催延期が続き、県内経済にも影響力の大きいマツダは生産調整を一部延期することを発表しており、5月以降も通常の企業活動は容易ではない環境にある。

前述の通り厳しい環境下にあるため、各種資金繰り支援や金融庁と日本銀行が全銀協に不渡り猶予の要請だけでなく、家賃補助の支援策検討など国、自治体、金融機関から倒産回避に向けた様々な対策が講じられている。しかし、収束目途が見えないなか、体力が備わっていない中小・零細企業では「新型コロナ」が追い打ちをかける形の倒産が増える可能性が高まっており、当面、倒産件数は増勢傾向が続くと見られる。

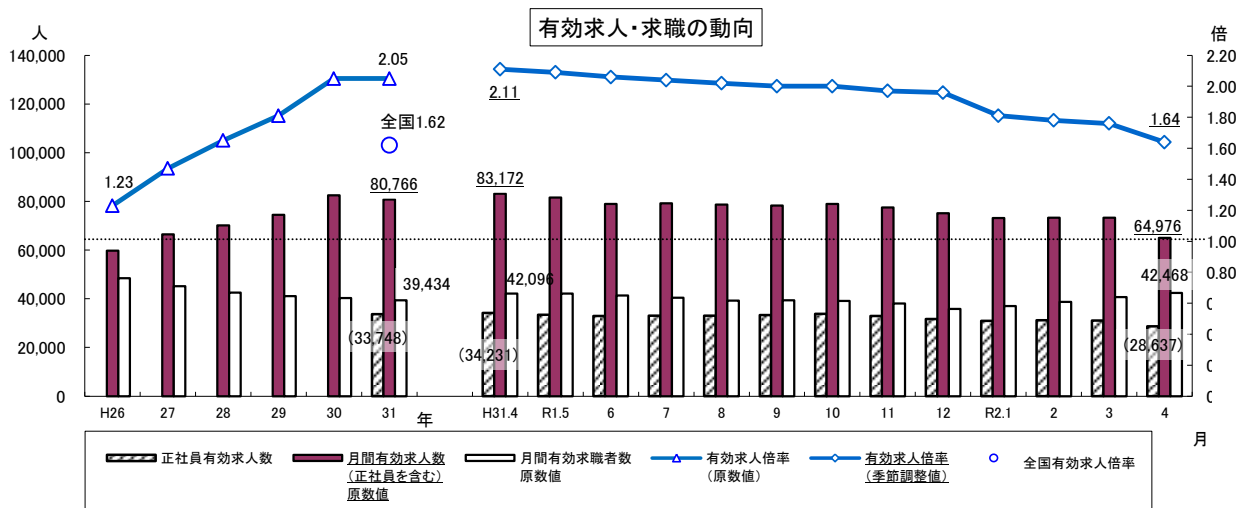
【(株)東京商工リサーチ】

# V 最近の雇用失業情勢（令和2年4月）

## 1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月
有効求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.78倍 (▲ 0.03ポイント)	1.76倍 (▲ 0.02ポイント)	1.64倍 (▲ 0.12ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.31倍 (▲ 0.06ポイント)	1.23倍 (▲ 0.08ポイント)	1.10倍 (▲ 0.13ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

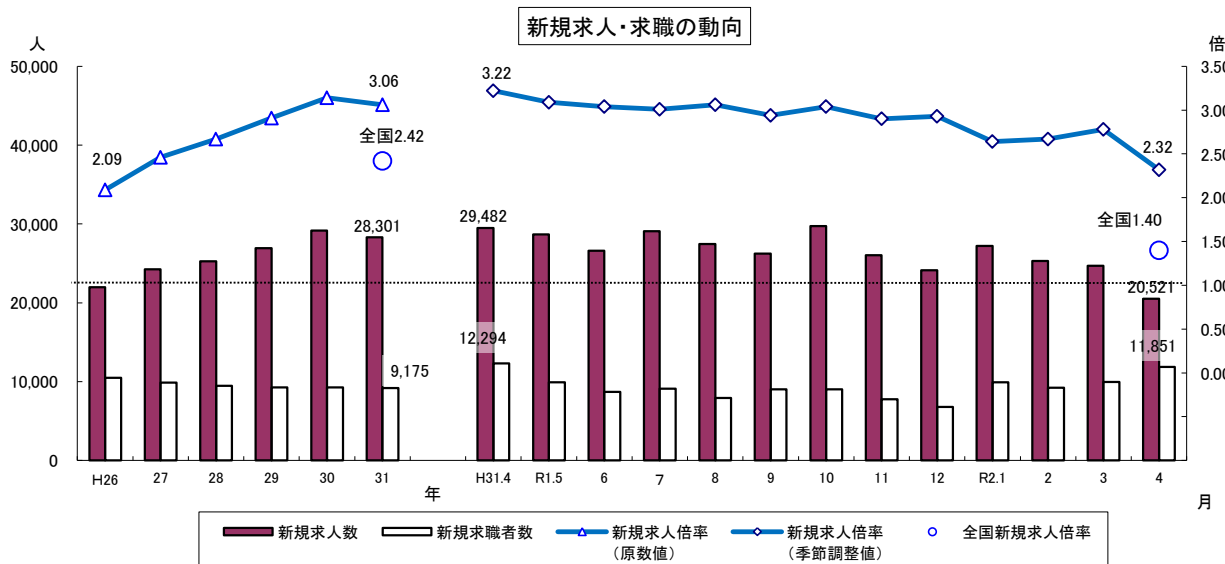
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 平成31年1月から令和元年12月の季節調整値は改訂されている。（令和2年1月分公表時改訂）

## 2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月
新規求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	2.67倍 (+ 2.67ポイント)	2.78倍 (+ 0.11ポイント)	2.32倍 (▲ 0.46ポイント)

【広島労働局】

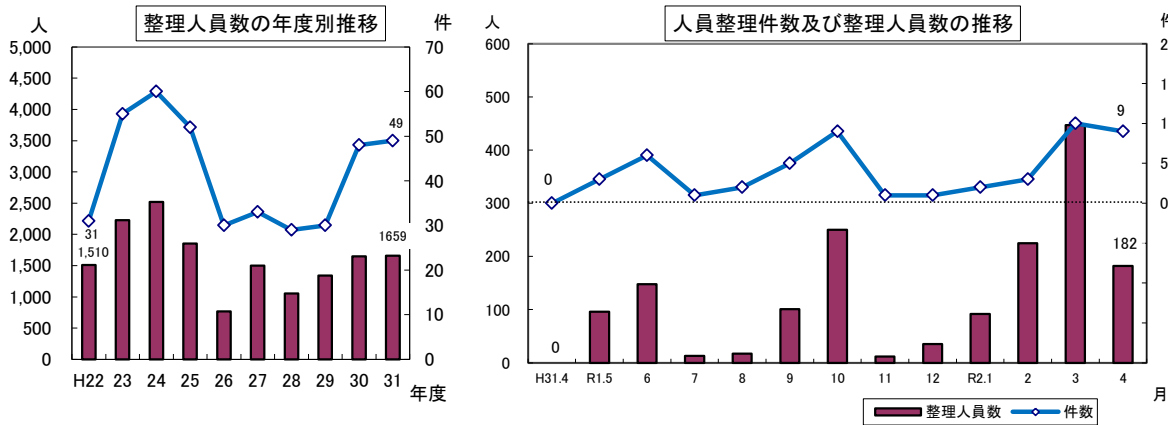


(注) 平成31年1月から令和元年12月の季節調整値は改訂されている。（令和2年1月分公表時改訂）

### 3 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月
件数 (前年同月比)	3件 (+ 1件)	10件 (+ 6件)	9件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	225人 (+ 133人)	447人 (+ 222人)	182人 (▲ 265人)

【広島労働局】



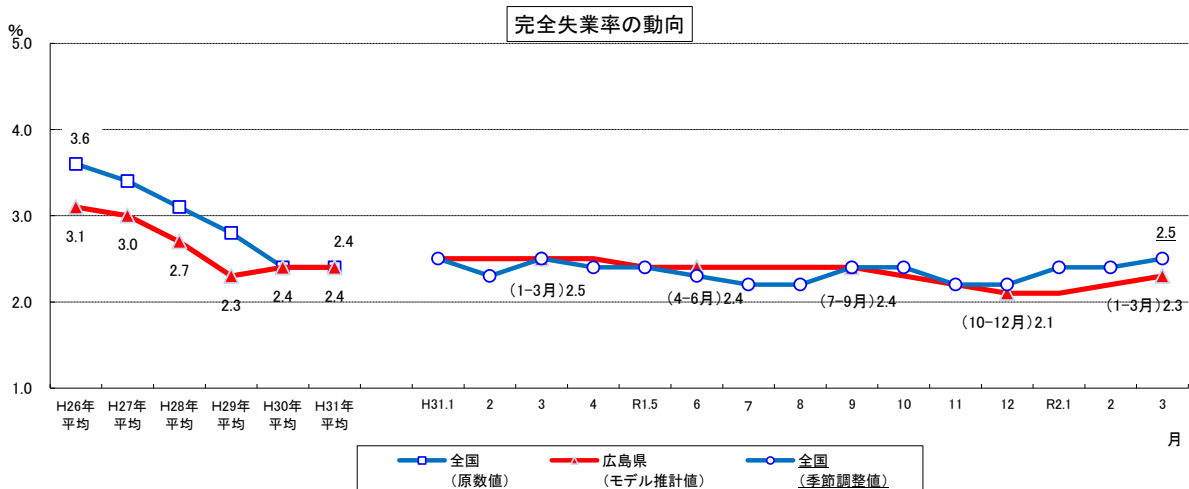
### 4 完全失業率の状況

区 分	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月
全国完全失業者数 (前年同月比)	159万人 (±0万人)	176万人 (+17万人)	189万人 (+13万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.4% (±0.0%)	2.5% (±0.1%)	2.6% (±0.1%)

区 分	令和元年・2年		
	7～9月期平均	10～12月期平均	1～3月期平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前期比)	2.4% (±0.0%)	2.1% (▲ 0.3%)	2.3% (+ 0.2%)

【総務省統計局】

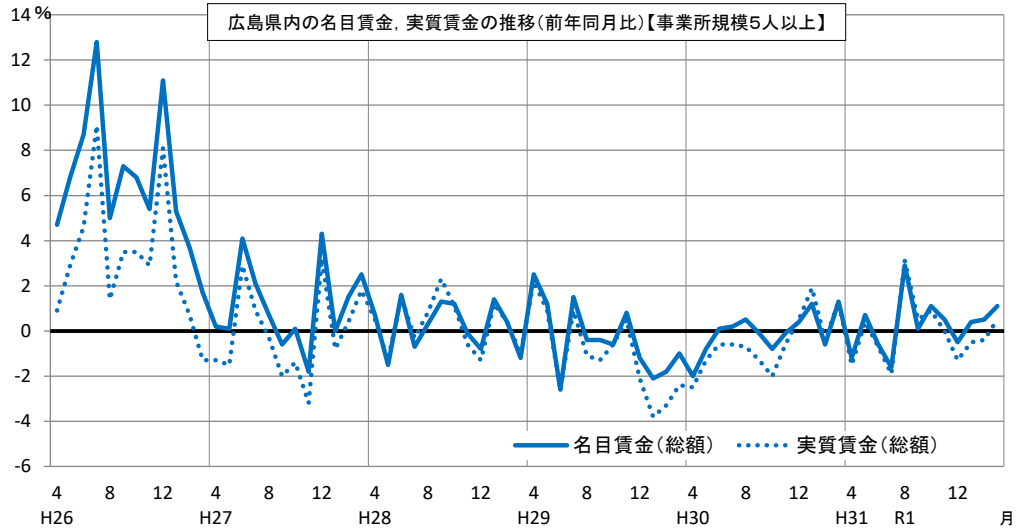


※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。

5 名目賃金, 実質賃金の推移 (前年同月比) 【事業所規模5人以上】

区 分	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
名目賃金	▲ 0.5%	0.4%	0.5%	1.1%
実質賃金	▲ 1.3%	▲ 0.5%	▲ 0.4%	0.5%

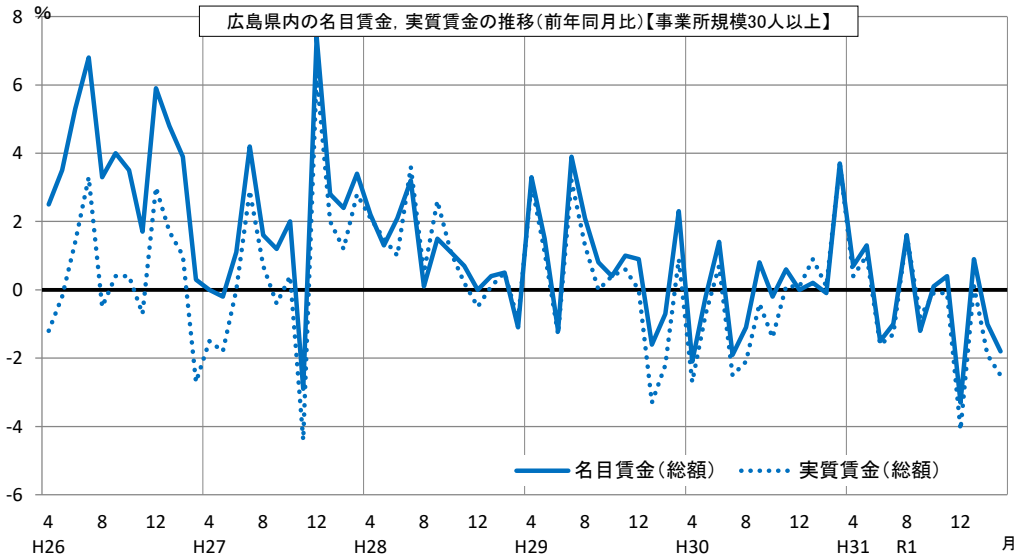
【県統計課】



6 名目賃金, 実質賃金の推移 (前年同月比) 【事業所規模30人以上】

区 分	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
名目賃金	▲ 3.3%	0.9%	▲ 1.0%	▲ 1.8%
実質賃金	▲ 4.1%	0.1%	1.9%	2.5%

【県統計課】



※ 毎月勤労統計調査から作成。

※ 毎月勤労統計調査の各月の指数を前年同月比で比較して作成。

実質賃金指数は, 名目賃金指数を広島市消費者物価指数で除して算出している。